



市民病院内の旬な人や出来事を紹介する PARK HOSPITAL NOW



横浜市立市民病院 医療福祉建築賞を受賞！

新病院に移転して2年。このたび一般社団法人日本医療福祉建築協会が主催する「医療福祉建築賞2021」を受賞しました。



横浜市立市民病院 受賞理由 ※選考委員講評より抜粋

- 困難な敷地条件を柔軟に受け入れ、1フロア3看護単位の病棟階と水平距離約150mの低層階を持つ、フルスペックの急性期病院を実現しました。
- 敷地選定時から深い洞察を重ねた医療者の理解と、きめ細かく応えた設計者、さらに開院後の運営者の創意工夫により見事な医療サービスを提供しています。
- 感染症病棟の動線計画・運用は、今後の感染症対応の標準となるでしょう。
- 簡潔明快な配置計画とデジタルサイネージを駆使したサイン計画により利用者に優しい病院を実現しています。
- 職員アンケートでの「一番大切な人に受診や入職を薦められるか？」を指標として変革を継続している姿は、市立病院の一つの理想形を示しています。

〈参考〉医療福祉建築賞2021選考報告



設計：(株)佐藤総合計画
施工：＜診療棟＞戸田・松尾・馬淵JV
＜管理棟＞松尾・奈良JV

医療福祉建築賞とは



医療福祉建築賞は、優れた医療福祉建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、これらの施設の質の向上をはかることを目的として一般社団法人日本医療福祉建築協会が顕彰するものです。



NEXT PARK HOSPITAL® 次号 Vol.36 は

患者さんをトータルサポート
市民病院の「乳がん治療」
※内容は異なる場合があります。

バック
ナンバーは
こちら ▶



横浜市立市民病院

初診の方をはじめの診療科を受診される方は、紹介状をお持ちください。
「皮膚科」について、これまで紹介状が無くても受診可能でしたが、8月1日より紹介状が無いと原則受診できません。

診療
受付

月曜日から金曜日

(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診)

- 初診の方 午前8:00～11:00 (診療開始8:45)
- 再診の方 午前7:30～11:00 (診療開始8:45)



救命救急センターへの受入れについて

- 平日・日中 原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日 必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1 ☎ 045-316-4580 内

編集・発行：横浜市立市民病院 編集協力：モンタセブンビジュアルズ 発行日：2022年6月 無断転載禁止

PARK HOSPITAL®

安心と
つながりの拠点

YOKOHAMA MUNICIPAL
CITIZEN'S HOSPITAL

横浜市立市民病院 広報誌 [パークホスピタル]

2022

June

TAKE FREE

vol. 35



特集

市民病院が支える

「日常生活とがん治療」

「がんゲノム外来」



横浜市立市民病院



特集 市民病院が支える「日常生活とがん治療」

通院して続ける放射線治療

放射線治療は手術・化学療法と並び、がん治療の3本柱のひとつです。日常生活と並行しながら、外来通院でのがん治療をすることが可能です。市民病院の放射線治療について、ご紹介します。

市民病院の放射線治療

今年度より、放射線治療装置を増やし2台体制となりました。IMRT専用機ハルシオンの稼働を開始しています(図1)。IMRT(強度変調放射線治療)とは、放射線治療の強度を変えることで、腫瘍部分に放射線を集中し



図1:ハルシオン

て照射する方法です。最新のコンピュータ技術により、狙った部分にのみ、十分な放射線を当てることが可能になりました。腫瘍の形や位置に合わせて、放射線の強度や形状を変化させて照射できます(図2)。



図2:ピンク色の部分が照射箇所
IMRTで正常組織が存在する中心部分の照射を避けることができます

INTERVIEW

スタッフ一丸で「日常生活を送りながらのがん治療」を支える

医療の進歩もあって、病状によっては通院でのがん治療も可能になり、抗がん剤治療だけではなく放射線治療も受けることができます。放射線治療科長の小田切先生にお話を聞きました。



放射線治療科長

小田切 一将

KAZUMASA ODAGIRI

01 がんの放射線治療は、通院の場合、どのように行われるのでしょうか。

患者さんの約半数が、通院でのがん治療(外来放射線療法)を選択しています。乳がんや前立腺がんのケースが多いですね。放射線治療は平日毎日(週5回)受けることが基本ですが、最短で1~数回、長くて40回程度です。腫瘍にピンポイントで照射する技術の進歩もあり、効果・副作用は同じままで以前より通院回数を減らすことが多くの領域で可能となっています。1回の治療(照射)時間は基本的に10分程度。仕事の前や、子どもが学校に行っている間などに受ける方も多く、生活を大きく変えず治療が続けられます。

02 医師以外にも多くの職種が治療に関わっている、その理由を教えてください。

効果的な治療の実現には、多職種の力が欠かせません。例えば、医師は患者さんの状態や希望に応じて治療方針を定め、放射線技師が照射を行います。その間をつなぐのが医学物理士という資格者。極めて高度かつ複雑な医療行為であるだけに、治療にも医療機器にも精通した医学物理士

が治療プランの策定・検証に関与します。また、生活背景まで把握して個々の患者さんを支えるのは、主に看護師の役割。4人の看護師が勤務しており、細やかなフォローができます。スタッフ間で自分の考えを率直に言える風通しの良い雰囲気の中、良い医療提供を目指し密に連携しています。

03 通院しながらの治療には難しさもあると思いますが、どうアプローチしていますか。

放射線治療の場合、効果や副作用が現れ始めるのは開始から約2週間後で、副作用で次第に体調が悪くなるケースもあり得ます。入院とは異なる環境だからこそ、継続的に状態を確認することが欠かせません。精神的・社会的な側面を含め、治療を完遂できるよう「伴走する」ことを意識しています。特に高齢の患者さんは、もともと生活上の困難を抱えている方が多く、そこへ通院治療を組み込むのは容易ではありません。院内はもちろん、地域の病院や訪問看護ステーション、民生委員とも連携しながら患者さんを支援します。

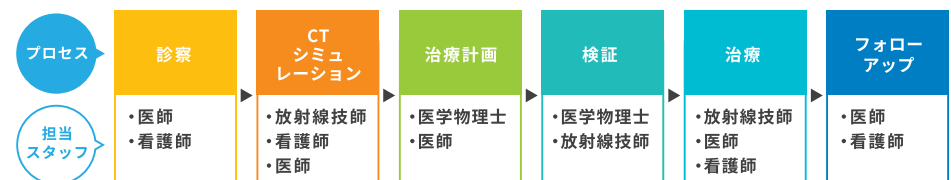
04 最後に、患者さんへメッセージをお願いします。

IMRT(強度変調放射線治療)専用機ハルシオンを導入し、放射線治療装置を2台体制で運用しています。高度な医療機器と技術力を備えるだけでなく、それを安全かつ確実に患者さんへお届けするため、スタッフ一丸となって走り続けていきます。どうぞ安心して、治療を受けていただければと思います。



放射線治療の流れ

治療は、さまざまなスタッフが連携して行います。各スタッフが業務の質を上げて連携することにより、安全かつ精度が高い治療を実現します。





治療や療養生活をサポート

「がん看護外来」

2人に1人ががんになる時代。がん患者さんは、抱える悩みもさまざまです。そんな患者さんに日々向き合う「がん看護外来」をご紹介します。



Q. がん患者さんは、どのような悩みを抱えていらっしゃるのでしょうか。

がんと告知されて、落ち込んだり、食欲や睡眠が普段通りでなくなるのは自然なことです。症状、手術や治療のこと、療養生活のこと、そして仕事や学業、日常生活をどう過ごしていくかなど、患者さんが考えることはとても多いんです。

最近では、がんの告知から治療方針を決める過程が、ぐっとスピーディーになっています。気持ちのやり場がないまま、どんどん物事が進んでしまう感覚になっている方も多いのではないかと思います。

Q. がん看護外来は、患者さんとどのように関わっていますか。

当外来の看護師は、がん全般、痛み・症状の緩和、薬物療法、放射線療法など、専門分野の資格を持っています。ご家族でも医師でもない「専門知識がある友人」のような立場で、患者さんのお話を伺います。看護師と話すことで、改めてご自分の気持ちを整理される方も多いです。自分の気持ちや悩みを捉え、次のス

テップに踏み出すのは患者さんご自身。あくまでも私たちはそのお手伝いです。また、一度決めたことに気持ちが揺らぐのも、自然なこと。そこに寄り添うことも私たちは大切にしています。

Q. がん患者さんへのメッセージをお聞かせください。

当外来のスタッフは、患者さんやご家族の思いをお聴きして、皆さんが自分らしい選択ができるようお手伝いします。また院内には、他にもさまざまな資格を持った看護師がいますし、医師や薬剤師、栄養、心理、リハビリなどのスタッフとも連携しながら、より良い方策を見

いだしていきます。市民病院の看護の力で、患者さんと伴走していきますので、ぜひお気軽にご相談ください。



患者さんの体調管理をサポート

「薬剤師外来」

外来でがん化学療法を受ける患者さんをサポートするため、「薬剤師外来」を開設しました。採血後から医師診察前までの待ち時間を使って、効率的で精度の高い医療の提供が期待できます。



1. 薬剤師外来とは？

がん治療における副作用対策は、治療の継続を左右します。また、副作用は個人差があり、個々の症状への対応が必要となります。どんな副作用があったか、薬剤師

が患者さんから問診で確認し、副作用に対応する最適な処方提案を実施しています。

2. 外来の流れ

医師の診察前に薬剤師が面談し、体調を確認します。



3. 問診で確認すること

問診では、「吐き気や食欲の低下」「嘔吐^{おうと}」「味覚の変化」などの副作用があったかを確認しています。副作用があった場合は、副作用に対応する適切なお薬を検討し、医師へ提案することで処方につなげます。また、処方済

の薬剤についても残薬や使用方法を確認して、最大限の治療効果が出るようにしています。必要に応じて、院外薬局の薬剤師と連携することで切れ目のない医療を提供します。

4. アプリでの体調管理も

当院では、化学療法を受けている患者さんの体調管理の記録ツールとして「紙による治療日誌」が使われてきましたが、アプリによる管理もできるようになりました。簡単な操作で日々の体調の記録ができ、ご自身の体調管

理を医療者と共有することで、より良い治療へと近づけることが可能になります。また、過去のデータや自分に必要な情報へのアクセスなども容易になります。詳細はお近くの薬剤師スタッフまでお尋ねください。



PICK UP
NEWS

がんゲノム外来について

がんゲノム医療とは、通常のがん治療では効果がなく、手術で取り除くこともできない「がん」の遺伝子を詳しく調べて、遺伝子の変化に応じた治療薬を探すものです。当院では令和元年8月から、がんゲノム外来を開始しています。

がん遺伝子パネル検査とは

多くのがんにおいて遺伝子の変化(＝遺伝子変異)が生じています。「がん遺伝子パネル検査」とは、標準治療がない、または終了した患者さんを対象に、がん細胞に起きている多数の遺伝子の変化を同時に調べ、その変化に対して適した治療法を検討する検査です。検査の結果、効果が期待できる薬がある場合は、治験なども含め治療法を検討します。これまでに、検査結果に基づいた治療が実施された方は、全体の1割から2割程度です。また、治療に役立つ情報とは別に、遺伝性腫瘍の可能性が判明する場合があります。その場合、当院でも遺伝カウンセリングを受けることができます。なお、患者さんの同意がある場合、この検査のデータや診療情報は、研究や医薬品などの開発に利用されます。



がんゲノム外来スタッフ

当院の検査実績

113件

※他院からの紹介 14件

(2019年9月から2022年3月まで)
(うち血液による検査:18件)

患者さん負担額

1割負担の方 5.6万円 3割負担の方 16.8万円

※多くの患者さんは高額療養制度の対象となるため、実際の負担額はこれより少なくなります。

< 検査の流れ > (3～6まで、4～6週間を要します)

1	患者さんからのご相談	検査内容・適応などはもちろん、心配事などがありましたら、主治医やがん相談センターでご相談をお受けします。
2	がん相談支援センターで申込手続き	申込書記入
3	担当医からの説明に同意 ※主治医が担当医を兼ねる場合もあります。	検査方法、遺伝性腫瘍判明の可能性、個人情報管理等の説明を受けた後、同意書に記名
4	検査の実施(遺伝子解析)	米国または国内の専門機関による解析
5	エキスパートパネルでの検討 (国立がん研究センター中央病院)	解析結果に基づき、がんゲノムなどさまざまな分野の専門家による治療法の検討
6	担当医から患者さんへ結果報告	担当医から検査結果を報告
7	主治医が治療方針を検討	検査結果をもとに今後の治療方針を検討



患者総合サポートセンター 登録医療機関をご紹介します

神大寺ホームケアクリニック (神奈川区)

【診療科目】内科・呼吸器内科・消化器内科・脳神経内科・血液内科・訪問診療

「各専門医がサポートしていきます。」内科を基本として、呼吸器内科、脳神経内科、消化器内科、血液内科を専門にしている医師が曜日別で外来診療を担当しています。些細なことでもご相談ください。また、外来通院が難しい患者様には定期的な訪問診療でご自宅での生活をサポートいたします。患者様やご家族のお考えを大切にし、わかりやすい説明と丁寧な対応を心掛けております。横浜市民病院の先生方とも連携しており、何かあればすぐにご相談させていただいておりますので、ご安心ください。どうぞよろしくお願いいたします。



相子院長とスタッフの皆さん



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	—
14:00～17:00	○	○	○	—	○	—

【休診日】木曜日午後、土曜日、日曜日、祝日

〒221-0801 神奈川県横浜市神奈川区神大寺1-11-12 TEL:045-548-5166 URL:https://kandaijihc.com/

東川島診療所 (保土ヶ谷区)

【診療科目】内科・外科・小児科・リハビリテーション科・皮膚科・循環器内科・呼吸器外科・放射線科・神経内科・精神科・心療内科

地域密着型の診療所として、生後間もない新生児から高齢者様まで、患者様の年齢は幅広い診療所です。患者様ご本人をはじめ、ご家族の方にも、よりよい支援とサービスをご提供しています。生活習慣病を中心に治療を行い、早期発見にも力を入れています。市民病院の先生方とは病診連携がスムーズに機能しており大変助かっています。どんな些細なことでも、病気以外のことで、一人で悩まず気楽にご相談ください！スタッフ共々、日々診療に専念し皆様の健康をサポートしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



三村院長

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～14:00	○	○	13:00 まで	○	11:20～ 12:00 を除く	13:00 まで
16:00～18:00	○	—	—	○	○	—

【休診日】火曜日午後、水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

〒240-0041 横浜市保土ヶ谷区東川島町15-6 TEL:045-373-9899 URL:https://www.higashikawashima-cl.com/